



INDONESIA MISSION



新ホームページ
スマホ対応

発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」

HP：<https://indnesia.com>



ボルネオ幼稚園完成予想図

西カリマンタン宣教のためにお祈りとご支援をありがとうございます。

上記はボルネオ幼稚園の完成予想図です。こんな奥地にキリスト教幼稚園を建てることになるとは、とここまで導かれた主のご計画に驚きの気持ちです。宣教の働きは奥地へ、未伝地へと確実に進んでいると感じます。そしてそれと共にこの日本にも未伝地の人たちが今やって来ています。最近カリマンタンから仕事で来た未伝部族の青年2人と出会いました。なんとすぐ近くに住んでいて、そして仕事先は私がよく行く近くの病院でした。いよいよ宣教は「どこからどこへでも」の時代になっていることにワクワクしています。

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ



意外と近い!? 日本とインドネシア

ボルネオ幼稚園建物建築



レシ先生と園長のネリ

いよいよボルネオ幼稚園の工事が始まりました。幼稚園といってもおそらく皆さんが想像するような建物ではなく、木造の高床式の簡素な建物です。

この幼稚園は園長ネリの夢から始まりました。彼女は小学校を卒業してから国境を越えてマレーシアへ仕事に行きました。仕事はレストランでの下働きでした。そこで毎日働きながら彼女は「一生こうやって朝から晩まで下働きで働いて終わっていく人生なのか…」と思いました。そのような時に自分の村（グンジュマ村）から徒歩で何時間もかかるスルートウンバン村に公立中学ができて、その横にグロリア寮Ⅱができたのです（2003年）。それで「勉強したい」と強く願わされ2年遅れでしたが中学校に入学したのです。グロリア寮でイエス様に会い、自分は祝福となるために存在すると教えられました。そして、「僻地で顧みられない自分の村にキリスト教幼稚園を始めたい」という夢を持ち始めたのです。それから約17年。

2022年には村の公民館を借りて小さな幼稚園をスタートすることができました。そして今インドネシア政府からの認可を目指して建物を建てようとしています。

どうかキーパーソンである園長ネリのために、建物建設のために（僻地での資材調達、運搬、大事な基礎工事のために）、まだ建築予算が満たされるようにお祈りください。



グンジュマの幼稚園予定地にて

Singkawang

ブンカヤン 約140km

カリマンタン島西部地図 約100km

約250km

エンティコン・グロリア寮舎監、デルフィとリコが退職

14年間舎監としてエンティコン・グロリア寮で奉仕してくれたデルフィと、彼女と結婚してから共に奉仕してくれたリコさんは昨年12月、グロリア寮クリスマス会の奉仕を最後に退職しました。YPPH西カリマンタン支部からはコッテ先生が来てくださって感謝状を渡されました。日本から私たちは送別の時に居ることはできなかったけれど、感謝のメッセージ動画を送り、最後会場は涙、涙だったそうです。

彼女たちの働きは大きかったけれど、これからはヘルマヌスが、グロリア寮2とボルネオ幼稚園の管理者も兼ねて責任を持ってくれるので安心です。デルフィたちとはこれからも良い協力関係を持ちながら、ミッショントリップの時など手伝ってもらう予定です。14年間、彼女たちの忠実ですばらしい奉仕を心から感謝します！



デルフィとリコに感謝



クリスマス会の様子



みんなで協力❤️食事の準備
デルフィも最後まで奉仕

スルートゥンバワングロリア寮2に新舎監来たる

デルフィの退職に伴い、ヘルマヌス家族がエンティコンに異動し、そのために奥地のスルートゥンバワングロリア寮2に代わりの舎監が必要となり皆様にお祈りしていただいていたいました。スルートゥンバワン村は僻地で、やっと電気や携帯電波も届くようになりましたが、そこで重荷を持って仕えてくれる人がなかなかいないのが現状でした。しかし神様は祈りに応えてくださり、ATI神学校卒業生のヨビを与えてくださいました。感謝！

以下、新舎監ヨビの紹介です。彼のためにどうぞお祈りください。



新舎監のヨビ

本名：ヤコブ・マファノク(ヨビは呼び名です)

出身地：インドネシア、マルク諸島

学歴：ATI神学校 2021年卒業

今までの奉仕先：GMII教団ペトゥングン恵み教会

志望動機：新しいことに挑戦したいという思いがあり、辺境地域での奉仕に重荷がある。

ビジョン：魂を救い、神の真理を知らせる教育を行うこと。そして神に頼ることの大切さを理解してもらうこと。

使命：アクセスが困難な地域に、伝道拠点を設立すること。

グロリア寮Ⅱの子供たち



ラマダン(断食月)を通して ●族伝道

ギリストの愛のうちにご挨拶申し上げます。西カリマンタンにおける●族への伝道のため、日頃より尊いお祈りによるご支援をお捧げくださっている皆さまに、心より感謝し、主を賛美いたします。

皆さまのお祈りによって、私たちはこの部族に継続してリーチすることができ、主より福音を伝えるための勇気の霊を与えられています(イザヤ書61章1節)。

かつて彼らの心は非常に頑なで、イエス・キリストの御名を拒んでいました。しかし今、主イエスの御力が確かに働いていることを私たちは実感しています。

現在、彼らの心は大きく開かれ、イエスを主、また救い主として受け入れたいと願う人々が起こされ、弟子訓練の歩みへと導かれています。

タヨンナ



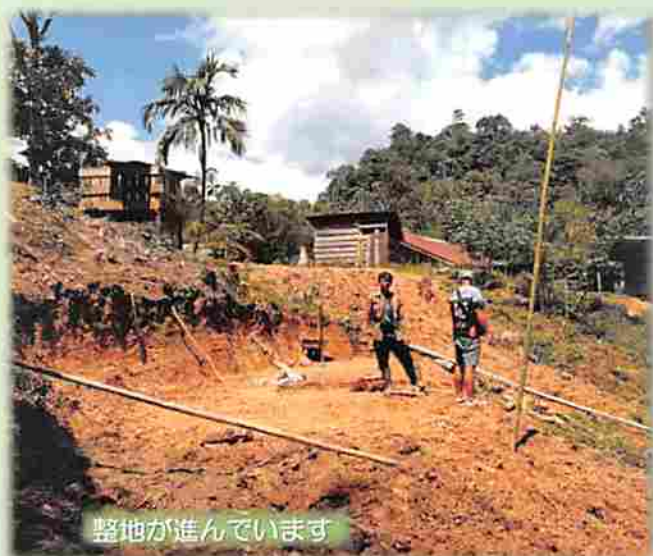
【お祈りの課題】

- 多くの●族の人々が心を開き、イエス・キリストを信じ、弟子として育てられていくようにお祈りください。
- 背後で働く暗闇の力が、主イエス・キリストの御力によって打ち砕かれるようお祈りください。
- この部族に仕えている私たち一人ひとりが、福音を届けるために必要な力、油注ぎ、そして知恵と戦略を主から与えられるようお祈りください。



西カリマンタンは指折りの田舎。都会の人の中には「あそこはインドネシアじゃない」という人もいる。その中でも山奥に位置するグンジュマ村。神は、この村の人々にも愛と情熱を注がれる。最初に受け取ったのは、この村で生まれ育ったネリ。彼女は“自立した活動として福音と教育を届ける”という形で表した。世界最大のイスラム教人口のインドネシア、しかもこのような田舎に、政府から認可されたキリスト教教育を行うなど誰が想像出来ただろう。ネリは、政府に認可申請をした。認可されれば公務員として国から給料をもらえ、自立した生活をしながら福音と教育を伝えることが出来る。申請には幾多もの困難があったが、幼稚園を建設することと、建設に関する書類を残すのみとなった。その幼稚園は、今夏完成予定で進んでおり、認可が実現しようとしている。神の愛と情熱が描くこのストーリーはこれで終わりではない。

ボルネオ幼稚園の評判は広がり、隣村に分校が生まれようとしている。福音と学ぶことを知った子ども達が、やがて村の中心的存在かつ証人となる。彼らによって福音が届けられて村々に広がり、地域全体が主の御名をほめたたえる。神はそんな景色を見ておられるのだと思う。



整地が進んでいます

愛知インドネシア福音教会・日本語礼拝

高橋 めぐみ

2月に愛知インドネシア福音教会の日本語礼拝で奉仕をしました。この教会では午前中インドネシア語で礼拝がささげられ、第三日曜の午後に日本語礼拝をしています。インドネシア人以外にフィリピン人の高校生の女の子も集っていました。

最初この礼拝は日本人への伝道のために行われていると思っていました。それもあると思いますが、でも今回「どうして日本語礼拝をするのですか？」と役員のコティさんに尋ねたところ「この日本で育った二世たちは、小さい時は親に連れられてインドネシア語礼拝に来るけれど、大きくなってだんだん神様から離れていかないために」という答えが返ってきました。



礼拝後に一人のインドネシア人の青年と日本語で話をしました。発音とイントネーションはまるで日本人のようでした。親の仕事で幼い時に日本に来たそうです。そしてインドネシア語より日本語の方が理解できると言っていました。でも、話しているとある単語は読みが逆になったりして、日本語レベルは日本人と同じ程度までではないことがわかりました。そして、私はこの日本語礼拝の必要に納得したのでした。

次回は6月に奉仕する予定です。彼ら二世たちのために、わかりやすい日本語で、パワーポイントも用いて、そしてできれば何人かで一緒に行って彼らの励ましになればと願っています。



－ 祈りのリクエスト －

ATI神学校

◎新校長にファニー師が赴任しました。過去に日本から奨学金サポートしていたATI神学校卒業生です。新体制を主が導き祝福して下さるよう。

中高生寮（3つの学生寮共通）

◎子どもたちが明確にキリストに出会って変えられていくように

エンティコン・グロリア寮Ⅰ

◎舎監ヘルマヌス家族とソフィアに知恵が与えられるように。

◎毎日曜日の礼拝が祝福され子どもたちの良い訓練となるように。

スルートゥンバワン・グロリア寮Ⅱ

◎新舎監のヨピのために。伝道実習生のアンティカと共に主の助けがあるように。

◎グロリア寮1と2、ボルネオ幼稚園の管理者となるヘルマヌス氏に主の助けがいつもあるように。

ブンカヤン・ベラカ寮

◎ベラカ寮の土地と建物が地域の必要のために用いられるように

プニティ・アナスタシス教会

◎フレンキー牧師夫妻が小中学校で宗教（キリスト教）を教えている華人の生徒たちに福音が伝わるように。

沿岸部族（●族）の働き

◎タヨンナ氏、ハリジョ氏の働きの祝福のために。
◎救われた人たちの信仰成長のために。犠牲祭(5月末)の訪問で、イエス様の犠牲が伝わるように。

グンジュマ村・ボルネオ幼稚園

◎町まで行って調達する建築資材購入がスムーズに進むように。

◎必要な建築資金が満たされるように
(予算300万円まであと100万円)

◎基礎工事に主の助けがあるように。

◎幼稚園の政府認可手続きが進むように

胡椒プロジェクト・奨学生の証し

ウィディアダルマ大学4年生
ユリア・アンドリカ・サワ

シャローム。

私の名前はユリア・アンドリカ・サワクです。ポンティアナックにあるウィディア・ダルマ大学での大学生活について、少しお話ししたいと思います。

大学での学びは、私にとって単なる理論や公式以上のものでした。これまで考えたこともなかったことを含め、さまざまな分野について学び、自分の視野を大きく広げることができました。大学の授業では、規律ある生活の大切さ、細部に注意を払う姿勢、革新的な解決策を見つける力、そして実験や課題に取り組むうえでの忍耐力を学びました。

また、さまざまな背景や文化、考え方を持つ友人たちと交流する機会にも恵まれました。そうした経験を通して、人生における「寛容さ」や「共感力」の大切さを学びました。大学生活は、自己成長のために多くのことを学べる、色彩豊かな旅のようなものだと感じています。

学生生活では、知識を得るだけでなく責任感も身につきました。朝から昼まで授業を受け、その後にグループ課題に取り組むこともありました。



大学での学びは充実✪

さらに、セミナーに参加したり、音楽などの大学の課外活動（サークル活動）にも積極的に参加しました。これらの経験は、将来に向けた基盤を築き、自立して生きていく力を身につけるうえで大きな助けとなりました。

大学卒業後は就職活動を行い、エンティコンにあるオフィスでの仕事にも挑戦したいと考えています。大学内外で得た学びや経験を生かし、国や社会、そして人々の役に立ちたいと思っています。これで私の話を終わります。ありがとうございました。

神様の豊かな祝福がありますように。
シャローム。

生活費7000円/月
(学費は某教会が支援)

奨学金支援：一口 1000円
申込窓口：
八尾福音教会・曙チャペル
伊藤勝利 itokt@nifty.com



奨学生 アンドリカ